

41st TOIS SEMINAR

インフラ内部を可視化するセンシング技術 ～見えない構造を可視化する技術の新たな可能性を探る～

開催日時：2026年5月11日（月） 14:00～18:00（ネットワーキング含）

開催場所：キムチドリアンカルダモン K,D,C,, <https://kdc-foodlab.com/>

東京都新宿区百人町1丁目10-15 JR新大久保駅ビル4F

（JR新大久保駅直結 ※出口は1つです）

参加費：無料

申込み：こちらのリンクまたは右のQRコードから申込みをお願いします。

<https://forms.gle/Ltjq2a3J1QT9TXeg7>



会場GoogleMap



申込みフォーム

2026.4.**

開催

データが創る安全・効率・価値の新しいかたち

内容：

社会インフラの老朽化は、多くの産業に共通する重要課題です。近年、壁内の配線や鉄筋をリアルタイムで可視化する技術、コンクリート材料の劣化や内部状態を科学的にとらえる解析技術、さらには、火山・巨大構造物の内部を透視するミュオンイメージングなど、スケールを横断した内部可視化技術が大きく進展しています。

インフラ維持管理は、経験依存からデータ駆動型へとパラダイムシフトが進みつつあります。

本セミナーでは、

- ・壁内の配線・鉄筋など、破壊せずに内部を可視化するセンシング技術
- ・コンクリート材料の内部を読み解く構造・材料工学
- ・巨大スケールの内部を透視するミュオンイメージングの最前線

といった、異なる内部可視化技術をつなぎながら、インフラの未来を支える最前線の技術を紹介します。これらの技術は、建設業界に限らず、保険、金融、物流、デバイスメーカー、自治体、スマートシティなど幅広い領域で新たな価値創造につながる可能性を秘めています。

後半のアトリエでは、参加企業の皆さまの視点を踏まえ、壊さずわかる世界がもたらす未来の共創アイデアや新しいビジネスの可能性を探ります。インフラの安全と価値を再定義する技術の未来を、共に描く場として開催します。



インフラ内部を可視化するセンシング技術

開催:2026年5月11日(月)14:00~18:00

タイムテーブル (予定) :

13:45- 開場・受付開始

14:00-14:10 ご挨拶 事務局 名古屋大学オープンイノベーション (OI) 推進室 室長 寺野真明

14:10-15:40 第一部 講演

14:10-14:25 コンクリートの内部を知る：ひび割れ・劣化・内部状態を可視化する構造・材料工学

名古屋大学大学院工学研究科 土木工学専攻 構造・材料工学 教授 中村 光 氏

14:25-14:40 テラヘルツ波を用いた非破壊センシングの可能性

名古屋大学大学院工学研究科 電子工学専攻 教授 川瀬 晃道 氏

14:40-14:55 (仮) 火山・巨大建造物の内部を透視する：ミュオンイメージングが描く未来

名古屋大学大学院理学研究科 理学専攻 物理学第二 准教授 森島 邦博 氏

15:40-15:50 休憩 (レイアウト変更)

15:50-17:10 第二部 アトリエ (ラウンドテーブルでの議論)

15:50-16:50 取り組みたいテーマについて各グループでの意見交換

16:50-17:10 グループでの意見交換内容の発表

17:10-18:00 ネットワーキング・意見交換会

TOIS (TOKAI OPEN-INNOVATION SALON) とは？

東海国立大学機構は、サロン活動TOIS (TOKAI OPEN-INNOVATION SALON) を設け、社会、企業とアカデミアそして社会での実践者の入り混じりによるオープンイノベーションの創出に挑戦し、その発火点として各種テーマによるセミナーを開催しています。入り混じりからの共創を目指し、セミナーでは前半、有識者らからの最先端の情報の交換の後に、同インプットをトリガーとする新規テーマ創出議論 (アトリエ活動、後半) を同業他社、異業種を含めたオープンな議論のもとに進めます。新規事業、スタートアップなどイノベーションを求める仲間のご参加を期待します。サロン入会は無料です。詳しくは下記連絡先までお問い合わせ下さい。

主催： 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構 オープンイノベーション推進室
TOKAI INNOVATION SALON (TOIS) ※

共催： 株式会社 Tokai Innovation Institute

お問合せ先： 国立大学法人東海国立大学機構 TOIS 事務局 nakamura.keiko.w2@f.mail.nagoya-u.ac.jp (担当 中村)

※東海国立大学機構では、企業とアカデミアそして社会での実践者によるオープンイノベーションの創出に挑戦し、その発火点として各種テーマによるセミナーなどをサロンと称して活動を続けています。